

# 参議院議員

# 上田きよしREPORT

レポート Vol.84



## No.84号

発行 清友会

朝霞市東弁財 3-13-6-207  
TEL.048-466-7566  
FAX.048-463-6138  
e-mail ueda@aya.or.jp

昨年12月、自民党派閥のパーティ券販売の議員個人への還付金が政治資金収支報告書に記載されず、裏ガネ、闇手当として議員個人の自由な使い方に任されていたことが判明しました。

細川政権時の一連の政治改革で企業団体の議員個人への献金は禁止されました。一方、全ての国民一人当たり250円分を政党の議席数などに応じて配分する政党法を制定し、政治資金の透明化を図ったものでした。しかし、政党への企業団体の献金は禁止されなかったことから各議員（無所属を除く）はそれぞれの政党支部を作り、事実上の企業団体からの献金の受け皿を作りました。政治資金規正法がいわゆるザル法になったわけですね。

いくらでもパーティや献金を通じて、企業団体が政党から個人へ献金できるトンネルを作ったのです。今回の自民党の派閥の裏ガネ問題の核心はここにありまます。

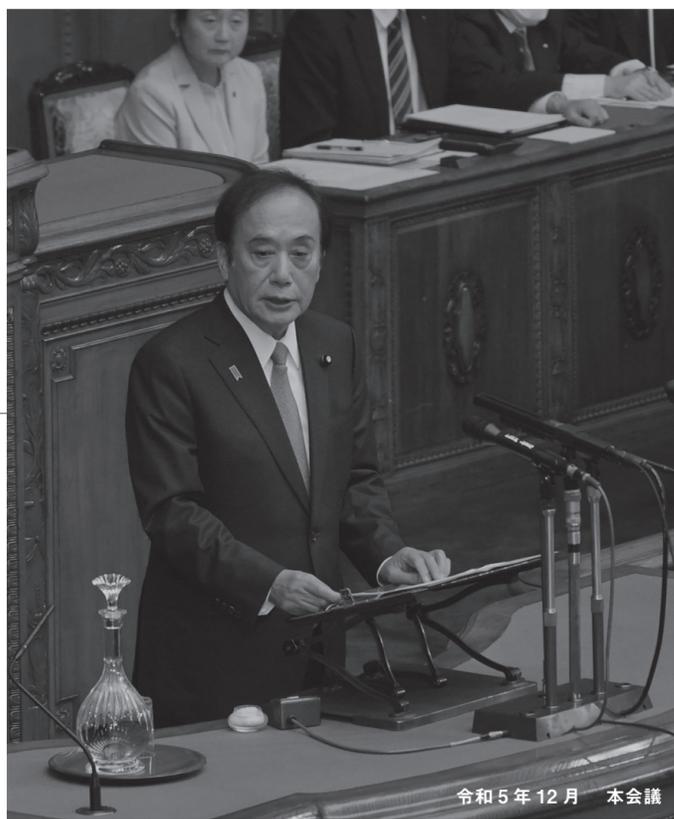
昨年8月8日から田中直紀（元防衛大臣）、田中眞紀子（元外務大臣）、元東京地検の郷原信郎弁護士と上田参議院議員の4人で今日の政治の劣化を正すには政治改革、選挙制度改革が必要ということで専門家を引きながら勉強会を重ねてきました。裏ガネ事件を受け、令和5年12月8日に国会の参議院議員会館で4人による緊急記者会見を行いました。とりわけ、田中眞紀子氏の発言のインパクトは大きく、内外に波紋を呼びました。改めて、私たちは政治改革、選挙制度改革を取りまとめ衆参議長や各党代表

一人では何もできない、  
でも一人が始めなければ何も始まらない!!

その一人になろう!!

など関係者へ提出します。さて、超低空飛行の岸田内閣による政局の展望が開けない中、正月早々、能登半島の大地震、そして海上保安庁機と日本航空機の衝突と大炎上など容易ならざる事態が起こっています。ロシア、ウクライナの終わりの見えない戦争に加え、イスラエル対パレスチナに加え、イスラエル対パレスチナの衝突。宗教、民族間の紛争は根本的解決がなかなかできないものです。イスラエル対ガザ地区のパレスチナ、ハマスの戦いでなく、ユダヤ対アラブの戦いへ拡大すれば、ロシア対ウクライナどころか中東の大動乱になりかねません。

今、地球全体では温暖化が進み、北極や南極などの氷、シベリアの凍土の融解、加えて森林の大火災、



令和5年12月 本会議

豪雨、干ばつなど、国連のグテーレス事務総長は「地球沸騰の時代」と言っています。

国際社会が大きな課題に取り組まなければならぬ時、残念ながら日本の国際的なパワーはどんどん低下し、国民総中流どころか国民の3割が貧困状態とも言われています。

今こそ国民の潜在的なパワーを引き出す大きな改革が必要です。「一人では何もできない。でも、一人が始めなければ何も始まらない。その一人になろう。」私の好きな言葉の一つです。

参議院議員 上田清司

## 呉江浩駐日中国大使(新任)は埼玉県上尾市にゆかりの人



中国大使館にて

昨年3月に着任された呉中国大使は30年前に日本のJICAが主催した「21世紀のための友情計画」の研修事業で来日されました。この時ホームステイしたのが上尾市だったそうです。大使着任後、早速その当時の受け入れ家族を探していたそうですが、なかなか見つからないとのことでした。

昨年10月10日に上田きよし参議院議員は小泉俊明元衆議院議員、前田雄吉元衆議院議員と共に呉中国大使を表敬訪問しました。政府間の関係は冷えていますが、議員外交で日中間を少しでも良好にしておこうという意味もありました。会談の中で大使から上田きよし参議院議員が前埼玉県知事だったということもあり、ぜひ、ホームステイの受け入れ家族を探して欲しいという要請がありました。上田きよし参議院議員はともも親しい畠山稔上尾市長に受け入れ家族探しを依頼しました。相当困難な状況でしたが丁寧に対応してくれました。

11月16日に上尾市役所で30年前にホームステイを受け入れた小野哲二郎氏と呉中国大使は畠山稔上尾市長仲立ちで再会を果たされました。

その後、これらのことを受け、呉中国大使から上田きよし参議院議員に習近平国家主席につながる将来有望な中国のリーダー達に会って欲しいと要請がありました。早速、昨年の臨時国会終了後、12月17日から20日まで北京と江蘇省へ行き、中国共産党側の経済責任者や江蘇省の市長等に会ってきました。

日中間は引越しができません。国益を踏まえ、しっかりと交流、友好を進めるしかありません。

### 新年総会のご案内

とき 2月25日(日)

午後 12:30 開場 午後 13:00 開会

ところ ベルセゾン

〒352-0001  
埼玉県新座市東北2丁目27-14  
TEL.048-475-1122

会費 2,000円

お茶葉子のみになります。

SPECIAL GUEST

せんだ みつおさん

昭和22年生まれ、東京都出身。子役時代を経て、70年代にラジオやテレビの司会で人気を博した。代表的な番組に「ぎんざNOW!」「うわさのチャンネル」などがある。「ナハナ」のギャグと軽妙なトーク、あたたかな人柄で親しまれるマルチタレント。



連絡先 上田きよし事務所  
TEL.048-466-7566

知っているから **できること。**

学区も親身に相談  
住まれる場所の学区や  
学校の特徴もお尋ねください。

家事を楽しむ住まい  
お料理が楽しくなる、そんな  
キッチンのお部屋もご紹介。

街のオトクに精通  
ここのお店の〇×△□が  
とっても人気なんですよ!

お部屋探しは東武東上線沿線で圧倒的な管理実績を誇るリゾンへお任せ下さい。

**株式会社リゾン** 0120-152-311  
LIZON group 〒351-0022 埼玉県朝霞市東弁財1-7-24 URL: https://www.lizon.co.jp

Gas One

「Gas One」グループはお客さまにとって  
最も身近なホーム・エネルギーパートナーです。

株式会社サイサン 〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町一丁目11番地5  
TEL.048-641-8211 https://www.saisan.net/ ガスワン



蘇州市李晶副市長（蘇州）



田中直紀（元防衛大臣）、田中眞紀子（元外務大臣）、元東京地検の郷原信郎弁護士と上田参議院議員の4人で政治とカネの問題について緊急記者会見

### アイスランド・ドイツエネルギー調査団

重要事項調査団五人のメンバーは、アイスランド及びドイツ連邦共和国における資源エネルギー・持続可能社会に関する実情調査並びに両国の政治経済事業等視察のため、令和五年（2023年）9月3日から9月10日までの8日間、両国を訪問しました。

我が国では、2022年2月のロシアのウクライナ侵略による新たな局面を受け、エネルギーの安定供給の確保等が重要な課題になっていることを踏まえ、水力発電及び地熱発電でほぼ100%の電力自給を達成しているアイスランド、ロシアのウクライナ侵略によりエネルギー政策上の大きな課題に直面しているドイツ連邦共和国における取組等につき調査を行ってきました。



徐林全国商工会連合会会長らと会談（北京）



グズムンドソン環境・エネルギー・気候省事務次官訪問（アイスランド）



日経企業の代表との意見交換会（ドイツ・ハンブルク）

### 上田きよしプロフィール

- 昭和23年九州福岡県生まれ。
- 法政大学法学部卒、早稲田大学大学院政治学研究科修了。
- 新自由クラブ立党に参画、同党政策委員、全国青年局長。政策科学研究所政策委員。1980年新自由クラブより衆議院議員選挙出馬4連敗するが不屈の闘志で5度目の1993年初当選、以後3期連続当選。衆議院議員2期目は小選挙区選出300人中、議員立法・質疑回数1位。3期目選挙直前、小泉純一郎（当時、総理）をして「俺は誰が相手でも勝つ自信はあるが、上田清司だけはご免こうむる」といわしめた。「選挙の鉄人」という異名もある。また、平成15年2月、塩ジイこと塩川大蔵大臣の「母屋でお粥をすすっていたが、離れてスキヤキを食べていた」という特別会計の例えは、上田清司代議士の質疑に共感して答弁した有名なセリフである。
- 平成15年8月、民主党を離党し、無所属で知事選に出馬、2位に約ダブルスコアで当選。
- 平成19年、23年、27年と4期連続当選。
- この間、総務省顧問、拓殖大学大学院客員教授、内閣地域主権戦略会議委員、全国知事会東日本大震災復興協力本部長、全国知事会会長など歴任。
- 令和4年改選、現在、参議院議員2期目。



# 去書士新



精力的に新年会等に参加



厳寒の中、拉致署名活動を続ける（川口駅西口にて）



地元ラジオFM  
レギュラー出演



STORAG ETZEL ガス貯蔵施設視察（ドイツ・ブレーメン）